

東京都新宿区高田馬場4丁目1番9号
公益財団法人 国際文化カレッジ
理事長 品川 恵保

令和5年度事業報告

1 令和5年度事業報告

I 公1：通信教育およびこれに関連する芸術、緑、ビジネス等の継続的教育・育成事業

[1] 各事業（公1-1～公1-3）の連携

当年度は、公1の事業全体の連携を図るために、写真関連の3事業を連動させた案内や美術品鑑賞鑑定入門講座と日美展・軽井沢千住博美術館を連動させた案内を行うなど、各事業（公1-1～公1-3）の連携、連動を図った。

[2] 公1-1：通信教育

定款第4条(事業)第1項第(1)号「自動車技術、園芸・植物、美術・芸術、職業指導など各種通信教育」、および同第(2)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、事業運営を行った。通信教育講座の普及活動における当年度の受講生(入学者)総数は、507人であった。

通信教育講座について

1. 入学者、退学者および修了者の総数

文部科学省認定講座群においては、当年度の入学者数は197人であった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

| 課程名 | 年度当初 受講者数 | 年度間の異動 | | | 年度末 受講者数 |
|---------------|--------------|--------|------|------|-------------|
| | | 入学者数 | 中退者数 | 修了者数 | |
| (合計) | 105 | 197 | 95 | 92 | 115 |
| 家庭園芸講座 | 22 | 52 | 26 | 26 | 22 |
| 自動車講座 | 14 | 53 | 27 | 25 | 15 |
| 総合盆栽講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 造園講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| オートバイ講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ハイキングとカメラ技法講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 庭木と果樹の手入れ講座 | 5 | 3 | 1 | 2 | 5 |
| 庭の工作物手作り講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 写真作品創作塾 | 29 | 40 | 33 | 7 | 29 |
| 植物医講座 | 20 | 23 | 3 | 15 | 25 |
| 庭師入門講座 | 6 | 9 | 0 | 5 | 10 |
| 美術品鑑賞鑑定入門 | 9 | 17 | 5 | 12 | 9 |

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群は、当年度の入学者数は310人であった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

| 課程名 | 年度当初 受講者数 | 年度間の異動 | | | 年度末 受講者数 |
|-----------------------|--------------|--------|------|------|-------------|
| | | 入学者数 | 中退者数 | 修了者数 | |
| (合計) | 303 | 310 | 162 | 127 | 324 |
| レタリング講座 | 60 | 53 | 43 | 5 | 65 |
| A. 実践ボールペン字 | 19 | 29 | 10 | 13 | 25 |
| C. トラブル対応力でチャンスに変える | 7 | 14 | 5 | 9 | 7 |
| D. コーチングで人を動かす | 23 | 75 | 40 | 28 | 30 |
| E. 説得力・交渉力を行使する | 1 | 3 | 0 | 3 | 1 |
| F. コミュニケーションで自信と信頼を得る | 21 | 21 | 6 | 14 | 22 |
| G. アサーション表現力で魅了する | 28 | 8 | 1 | 6 | 29 |
| I. 問題解決能力で現状を打破する | 8 | 2 | 3 | 0 | 7 |
| J. リーダーシップを発揮する | 8 | 20 | 9 | 12 | 7 |
| K. 論理的思考で実現させる | 6 | 3 | 3 | 1 | 5 |
| L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる | 18 | 2 | 2 | 0 | 18 |
| M. プレゼンテーションで成功する | 8 | 2 | 0 | 1 | 9 |
| N. 心理学でビジネスの成果を生む | 30 | 10 | 4 | 7 | 29 |
| O. 図解思考がクリアにする | 21 | 3 | 3 | 1 | 20 |
| P. 情報を成果に育てる | 0 | 15 | 9 | 6 | 0 |
| Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学 | 0 | 4 | 4 | 0 | 0 |
| R. 眠っている9割を刺激する脳の活用法 | 37 | 16 | 4 | 9 | 40 |
| S. 誰でもできる時間の超活用法 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 |
| T. 誰もが納得、数字の力 | 1 | 4 | 0 | 3 | 2 |
| U. 実効性のあるキャリアデザイン | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| V. 新・人間関係のビタミン | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| W. 強いビジネス組織をつくる | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| X. コンサル型ビジネスの達人になる | 1 | 4 | 1 | 2 | 2 |
| Y. ビジネスで恥をかかない国語学 | 3 | 17 | 12 | 5 | 3 |

2. 普及活動について

コロナ5類解除に伴い訪問営業を再開し、通信教育の内容に適合した各業態等への採用働きかけなどを行った。また、自動車講座や家庭園芸講座などでは、矯正施設における教育目的としての採用が、当年度も継続して行われた。これにより、当年度も該当者の社会復帰等に向けた教育支援に資することができた。写真作品創作塾については、フォトマスター検定事業(公1-2)と連携して、受験者の学習に資する講座としての普及活動も行った。文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群においても、これらを採用する企業や地方公共団体などへの採用働きかけなどを行った。しかしながら、eラーニング限定採用などの団体が増加しており、紙ベースの通信教育の採用については、年々厳しくなっている。なお、媒体広告の効率低下やウェブ広告の強化に伴い、通信教育をインターネットで申し込みをしやすくするためのウェブ構築を本年に集中的に行い、次年度に公開することで、紙媒体や訪問営業に頼らない受注の獲得も目指してゆく。

3. 学習指導

学習指導における学習指導者(専門家)および教務責任者は下表の通りに組織して、各講座とも充実した添削指導を行い、学習途上における質問(質疑応答)に対しては詳細・的確・迅速に対応して受講生の学習意欲の向上を図った。

[文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者]

| 講座名 | 学習指導者 | 教務責任者 |
|---------------------------------------|--|-------------|
| 家庭園芸講座 | 計3名 山形大学農学部卒：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名 | 事務局職員 1名 |
| 自動車講座 | 計3名 元読売江東理工専門学校講師：1名／ 専門学校 読売自動車大学校専任教 員：1名／ 中央大学理工学部卒：1名 | 事務局職員 1名 |
| 総合盆栽講座 | 計2名 山形大学農学部卒：1名／ ㈱花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名 | 事務局職員 1名 |
| 造園講座 | 計2名 ㈱花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名 | 事務局職員 1名 |
| オートバイ講座 | 計3名 専門学校 読売自動車大学校専任教 員：1名／ 三井住友海上火災保険㈱アジャスター・ 元読売江東理工専門学校講師：1名／ バイクジャーナリスト：1名 | 事務局職員 1名 |
| ハイキングとカメラ 技法講座 | 計3名 写真家：1名／ 国立科学博物館附属自然教育園名誉研究員：2名 | 事務局職員 1名 |
| 庭木と果樹の手入れ 講座 | 計3名 2級造園施工管理技士：1名／ 山形大学農学部卒：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名 | 事務局職員 1名 |
| 庭の工作物手作り 講座 | 計2名 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名 | 事務局職員 1名 |
| 植物医講座 | 計3名 東京農業大学農学部卒：2名／ 千葉大学環境健康フィールド 科学センター・農学博士：1名 | 事務局職員 1名 |
| 写真作品創作塾 | 計3名 写真家：3名 | 事務局職員 1名 |
| 庭師入門講座 | 計3名 1級造園施工管理技士：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名 | 事務局職員 1名 |
| 美術品鑑賞・鑑定 入門講座 | 計3名 美術評論・鑑定家：1名／ 絵画保存修復工房代表：1名／ 元愛知県陶磁美術館館長補佐：1名 | 事務局職員 1名 |
| 文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者の変更について なし | | |

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の学習指導者および教務責任者]

| 講座名 | 学習指導者 | 教務責任者 |
|--|--|--------------|
| レタリング講座 | 計 2 名 レタリング技能検定中央試験委員：2 名 | 事務局職員 1 名 |
| 実践ボールペン字講座 | 計 2 名 大東文化大学日本文学科卒・硬筆・毛筆書家： 1 名/法政大学文学部書道科履修・硬筆・毛 筆書家：1 名 | 事務局職員 1 名 |
| トラブル対応力でチャンスに変える／ コーチングで人を動かす／説得力・交渉 力を行使する／コミュニケーションで 自信と信頼を得る／アサーション表現 力で魅了する／問題解決能力で表現を 打破する／リーダーシップを発揮する ／論理的思考で実現させる／発想力・創 造力でビジョンを練り上げる／プレゼ ンテーションで成功する／心理学でビ ジネスの成果を生む／図解思考がクリ アにする／情報を成果に育てる／思わ ず誰かに話したくなるビジネス雑学／ 眠っている 9 割を刺激する脳の活性化法 ／誰でもできる時間の超活用法／誰も が納得、数字の力／実効性のあるキャリ アデザイン／新・人間関係のビタミン／ 強いビジネス組織をつくる／コンサル 型ビジネスの達人になる／ビジネスで 恥をかかない国語学 | 計 1 名 慶應義塾大学文学部社会学科 卒・エム・エフ・ジー(株)顧問： 1 名 | 事務局職員 1 名 |

添削指導の実施延べ回数は全講座の合計で 1,873 件、質疑応答は全講座の合計
で 126 件であった(細目は下表)。なお、企業・団体における受講に対しては、
人事部などの統括部署宛に、受講生全員の学習進度や成績などを細かく報告す
るサービスも例年同様に実施した。

[文部科学省認定講座群の添削指導状況]

| 課程名 | 実施延回数 | 一人平均 回数 | 受けた者の 実人数 |
|---------------|-------|------------|--------------|
| (合計) | 1,443 | 5.9 | 246 |
| 家庭園芸講座 | 425 | 9.2 | 46 |
| 自動車講座 | 594 | 9.1 | 65 |
| 総合盆栽講座 | 0 | 0.0 | 0 |
| 造園講座 | 0 | 0.0 | 0 |
| オートバイ講座 | 0 | 0.0 | 0 |
| ハイキングとカメラ技法講座 | 0 | 0.0 | 0 |
| 庭木と果樹の手入れ講座 | 19 | 2.7 | 7 |
| 庭の工作物手作り講座 | 0 | 0.0 | 0 |
| 写真作品創作塾 | 191 | 3.9 | 49 |
| 植物医講座 | 113 | 2.8 | 40 |
| 庭師入門講座 | 26 | 1.9 | 14 |
| 美術品鑑賞鑑定入門 | 75 | 3.0 | 25 |

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の添削指導状況]

| 課程名 | 実施延回数 | 一人平均回数 | 受けた者の実人数 |
|----------------------|-------|--------|----------|
| (合計) | 430 | 1.4 | 301 |
| レタリング講座 | 67 | 1.1 | 59 |
| A.実践ボールペン字 | 71 | 3.4 | 21 |
| C.トラブル対応力でチャンスに変える | 23 | 1.2 | 19 |
| D.コーチングで人を動かす | 77 | 1.3 | 60 |
| E.説得力・交渉力を行使する | 6 | 2.0 | 3 |
| F.コミュニケーションで自信と信頼を得る | 32 | 1.0 | 31 |
| G.アサーション表現力で魅了する | 12 | 1.2 | 10 |
| I.問題解決能力で現状を打破する | 0 | 0.0 | 0 |
| J.リーダーシップを発揮する | 28 | 1.1 | 25 |
| K.論理的思考で実現させる | 2 | 2.0 | 1 |
| L.発想力・創造力でビジョンを練り上げる | 4 | 2.0 | 2 |
| M.プレゼンテーションで成功する | 5 | 1.3 | 4 |
| N.心理学でビジネスの成果を生む | 13 | 1.1 | 12 |
| O.図解思考がクリアにする | 3 | 1.0 | 3 |
| P.情報を成果に育てる | 14 | 1.4 | 10 |
| Q.思わず誰かに話したくなるビジネス雑学 | 0 | 0.0 | 0 |
| R.眠っている9割を刺激する脳の活性化法 | 30 | 1.4 | 21 |
| S.誰でもできる時間の超活用法 | 3 | 3.0 | 1 |
| T.誰もが納得、数字の力 | 9 | 2.3 | 4 |
| U.実効性のあるキャリアデザイン | 0 | 0.0 | 0 |
| V.新・人間関係のビタミン | 0 | 0.0 | 0 |
| W.強いビジネス組織をつくる | 3 | 3.0 | 1 |
| X.コンサル型ビジネスの達人になる | 9 | 2.3 | 4 |
| Y.ビジネスで恥をかかない国語学 | 19 | 1.9 | 10 |

[文部科学省認定講座群の質疑応答状況]

| 課程名 | 実施延回数 | 一人平均回数 | 受けた者の実人数 |
|---------------|-------|--------|----------|
| (合計) | 91 | 1.4 | 63 |
| 家庭園芸講座 | 15 | 1.5 | 10 |
| 自動車講座 | 20 | 1.1 | 19 |
| 総合盆栽講座 | 0 | 0.0 | 0 |
| 造園講座 | 0 | 0.0 | 0 |
| オートバイ講座 | 0 | 0.0 | 0 |
| ハイキングとカメラ技法講座 | 0 | 0.0 | 0 |
| 庭木と果樹の手入れ講座 | 7 | 1.4 | 5 |
| 庭の工作物手作り講座 | 0 | 0.0 | 0 |
| 写真作品創作塾 | 24 | 1.6 | 15 |
| 植物医講座 | 21 | 2.1 | 10 |
| 庭師入門講座 | 1 | 1.0 | 1 |
| 美術品鑑賞鑑定入門 | 3 | 1.0 | 3 |

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の質疑応答状況]

| 課程名 | 実施延回数 | 一人平均回数 | 受けた者の実人数 |
|-----------------------|-------|--------|----------|
| (合計) | 35 | 1.3 | 27 |
| レタリング講座 | 17 | 1.2 | 14 |
| A. 実践ボールペン字 | 4 | 1.3 | 3 |
| C. トラブル対応力でチャンスに変える | 1 | 1.0 | 1 |
| D. コーチングで人を動かす | 5 | 1.7 | 3 |
| E. 説得力・交渉力を行使する | 0 | 0.0 | 0 |
| F. コミュニケーションで自信と信頼を得る | 0 | 0.0 | 0 |
| G. アサーション表現力で魅了する | 2 | 2.0 | 1 |
| I. 問題解決能力で現状を打破する | 0 | 0.0 | 0 |
| J. リーダーシップを発揮する | 0 | 0.0 | 0 |
| K. 論理的思考で実現させる | 0 | 0.0 | 0 |
| L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる | 0 | 0.0 | 0 |
| M. プレゼンテーションで成功する | 0 | 0.0 | 0 |
| N. 心理学でビジネスの成果を生む | 0 | 0.0 | 0 |
| O. 凶解思考がクリアにする | 0 | 0.0 | 0 |
| P. 情報を成果に育てる | 0 | 0.0 | 0 |
| Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学 | 0 | 0.0 | 0 |
| R. 眠っている9割を刺激する脳の活性化法 | 1 | 1.0 | 1 |
| S. 誰でもできる時間の超活用法 | 0 | 0.0 | 0 |
| T. 誰もが納得、数字の力 | 1 | 1.0 | 1 |
| U. 実効性のあるキャリアデザイン | 0 | 0.0 | 0 |
| V. 新・人間関係のビタミン | 0 | 0.0 | 0 |
| W. 強いビジネス組織をつくる | 0 | 0.0 | 0 |
| X. コンサル型ビジネスの達人になる | 2 | 2.0 | 1 |
| Y. ビジネスで恥をかかない国語学 | 2 | 1.0 | 2 |

[4]公 1-2：通信教育に関連する知識・技能の検定

定款第4条(事業)第1項第(4)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する知識・技能の検定」に基づき、当法人の写真関係の通信教育講座に関連する、フォトマスター／写真とカメラの実用知識検定(略称：フォトマスター検定)を、文部科学省後援により以下の通り実施した。

(イ) 試験実施日

令和5年 11月19日・日曜日(通常日程試験)
 及び11月20日・月曜日(特別日程試験)
 及び11月21日・火曜日(特別日程試験)

(ロ) 試験会場

令和5年度の試験会場設置都道府県は下記の通り。
 北海道／青森県／岩手県／宮城県／秋田県／山形県／福島県／茨城県／栃木県／群馬県／埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県／新潟県／富山県／石川県／福井県／山梨県／長野県／岐阜県／静岡県／愛知県／三重県／滋賀県／京都府／大阪府／兵庫県／奈良県／和歌山県／鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／徳島県／香川県／愛媛県／高知県／福岡県／佐賀県／長崎県／熊本県／大分県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県
 以上47都道府県(山梨県は受験応募者なし)

(ハ) 受験者数、合格者数等

写真・カメラに関わる実用知識、技能を客観的に評価認定する検定事業として、当年度は下表の通り、3級～1級の応募者数は1,983人、受験者数は1,747人、合格者数は983人の結果であった。なお、受験料は、前年度同様に自主会場(準会場)を設置しての団体受験の場合は10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は5%を割り引いて実施した。

| 受験級 | 区 分 | 応募者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|---------|-----------|-------|-------|------|
| 3 級 | 個人受験・一般会場 | 213 | 183 | 165 |
| | 団体・一般会場受験 | 27 | 26 | 22 |
| | 団体・自主会場受験 | 240 | 215 | 158 |
| 2 級 | 個人受験・一般会場 | 382 | 328 | 270 |
| | 団体・一般会場受験 | 22 | 21 | 19 |
| | 団体・自主会場受験 | 262 | 240 | 122 |
| 準1級 | 個人受験・一般会場 | 245 | 206 | 75 |
| | 団体・一般会場受験 | 20 | 18 | 9 |
| | 団体・自主会場受験 | 103 | 99 | 25 |
| 1 級 | 個人受験・一般会場 | 322 | 270 | 89 |
| | 団体・一般会場受験 | 26 | 25 | 7 |
| | 団体・自主会場受験 | 121 | 116 | 22 |
| 小 計 | | 1,983 | 1,747 | 983 |
| EX認定コース | (1ジャンル認定) | 10 | 10 | 9 |
| | (総合認定) | 3 | 3 | 2 |
| | (追加総合認定) | 1 | 1 | 0 |
| 小 計 | | 14 | 14 | 11 |
| 合 計 | | 1,997 | 1,761 | 994 |

(ニ) 普及活動

各階級の受験者のプロフィールを下表の通りに設定し、一般写真愛好者から写真・カメラ関連業界の従事者に至るまでに機能する検定として、当法人の写真関連通信教育講座の受講生・修了生をはじめ、当法人が開催する総合写真展の出品者・観覧者や全国の写真愛好者、写真・カメラ関連業界など不特定多数の者を対象としてインターネット広告をはじめ、関連施設への受験案

内書の配布やDM、関係社等への団体受験の広報活動により受験者を募る普及活動を行った。

| 階級 | 一般グループ | 業界関連グループ |
|-----|----------------|---------------|
| 1級 | 写真専攻大学生 優秀レベル | メーカー 営業責任者 |
| | 写真専門学校生 優秀レベル | 販売店 販売責任者 |
| | メーカー等のスクール指導者 | プロラボ/総合ラボ 責任者 |
| | | 写真館 撮影担当 |
| | | アシスタントカメラマン |
| 準1級 | 写真専攻大学生 並レベル | メーカー 営業担当 |
| | 写真専門学校生 並レベル | 販売店 販売担当 |
| | 高校写真部顧問 | プロラボ/総合ラボ 従事者 |
| | 写真愛好家 歴10年以上 | 技術・営業担当者 |
| | 地域のサークルリーダー | |
| 2級 | 中学校写真顧問 | メーカー 事務従事者 |
| | 高校写真部員 | ミニラボ オペレーター |
| | 写真愛好家 歴5～10年 | 写真館 窓口担当 |
| | メーカー等のスクールメンバー | 一般紙誌編集者 |
| | 地域のサークルメンバー | 各種企業広報担当者 |
| | カメラ機械愛好家 | デザイナーアシスタント |
| | カメラ雑誌愛読者 | フリー記者・ライター |
| 3級 | 中学写真部員 | DPE 窓口担当者 |
| | 趣味愛好家 歴5年未満 | (取次店含む) |
| | 撮影機会の多い一般者 | |

(ホ) 検定委員等

試験問題の作成、合否判定等に関わる当年度の検定委員は、下表の通りの写真家および写真・カメラ関連メーカー技術者により構成し、資機材の汎用的技術・機能はもとよりメーカー毎の独自の技術や機能等も試験問題に反映させた。また、試験問題について、(一社)日本写真学会の学識経験者による監修も経て、より有意なものとするに努めた。

| | 氏名等 |
|-------------------------|---|
| プロ写真家・ 評論家関係 | 徳光ゆかり/テラウチマサト/市川泰憲/ 板見浩史/赤松秀夫/枝常伊佐央/大久保晴功 |
| 写真・カメラ メーカー技術者 関係 | キヤノンマーケティングジャパン(株) : 1名/ 株タムロン : 1名/株シグマ : 1名/ 株ケンコー・トキナー : 1名/ 株ニコンイメージングジャパン : 1名/ パナソニック(株) : 1名/富士フイルムイメージングシス テムズ(株) : 1名/リコーイメージング(株) : 1名/ 株市川ソフトラボラトリー : 1名 |

(ヘ) 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

| | 団体受験に対して | 個人受験に対して |
|----------|--|----------------------------------|
| 文部科学大臣賞 | 1団体 | 4名(各級1名) |
| 当法人による表彰 | 最優秀団体賞 1団体 優秀団体賞 7団体 人材育成貢献賞 該当無 | 最優秀個人賞 8名 優秀個人賞 42名 (各級合計) |

[5] 公1-3：写真・水墨画・絵画等の展覧会

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、当法人の通信教育受講生の継続学習の促進や広く一般の美術、芸術文化の普及、振興に寄与する目的で、以下の通りに展覧会を開催した。

(イ) 総合写真展

1. 展示点数等

当年度・第27回展では、審査により入選以上に該当した1,209点の作品を展覧会会場(下記4.)に展示して公開した。

| 出品部門 | | 展示作品数 |
|-------|----------|-------|
| 半切サイズ | フィルム写真部門 | 28 |
| | デジタル写真部門 | 733 |
| 全紙サイズ | フィルム写真部門 | 18 |
| | デジタル写真部門 | 430 |
| 合 計 | | 1,209 |

2. 公募活動

前年度同様、当法人の写真関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、写真作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が実施するフォトマスター検定の受験者、あるいは当法人が運営する展示館施設の観覧者・利用者を含む不特定多数の者に門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内DM、カメラ関係販売店店頭でのリーフレット配布等の広報活動により作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に送付した。

3. 審査、審査員等

審査員は、実績のある写真家を中心とする以下の専門家で構成し、応募作品の審査方法、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。なお、最終審査はその厳正を図るために、出品作品を希望規定サイズ(半切または全紙サイズ)にプリント(紙焼き)した作品により行った。

| 氏 名 | 経 歴 |
|---------|-------|
| 川合 麻紀 | プロ写真家 |
| 徳光 ゆかり | プロ写真家 |
| テラウチマサト | プロ写真家 |
| 板見 浩史 | 写真評論家 |
| 丸林 正則 | プロ写真家 |

4. 会期、会場、参観者数等

令和5年12月13日から12月19日の会期で、東京都美術館・1階第2~4展示室(東京都台東区上野公園8-36)を会場に、写真文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示・公表し、開催期間中の参観者は2,592人であった。

5. 表彰式

表彰式には全国より170名の出品者が参加し、令和5年12月13日午前10時より11時45分の時間帯で浅草ビューホテル(東京都台東区西浅草3-17-1)において開催した。なお、表彰式の参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

6. 審査結果の公表

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また上位作品については作品写真・氏名・賞名をホームページや全国版写真専門誌に掲載して公表した。

(ロ) 日美展「水墨画部門」

1. 展示点数等

当年度・第6回展では、審査により入選以上に該当した384点の作品を展覧会会場（下記4.）に展示して公開した。

| 出品の部 | | 展示作品数 |
|-------|---------------------------------------|-------|
| 作家の部 | F30号/F20号/F15号 | 98 |
| 一般の部 | F30号/F20号/F15号/F10号 /F8号/F6号/半切1/2 | 219 |
| 臨画の部 | F10号/F8号/F6号/半切1/2 | 42 |
| 俳画の部 | F8号/F6号/色紙 | 20 |
| 無鑑査出品 | F50号/F30号/F20号 | 5 |
| 合計 | | 384 |

2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、墨を主体にして描く水墨画作品(類似の俳画作品を含む)を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内DMなどにより作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に提示した。

3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展実行委員は以下の水墨画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。

※当年度は下記19名の委嘱審査員のうち、大竹 卓/久山 一枝/根岸 嘉一郎/藤崎 千雲/王俊 宇瀨の5名の専門家が当番審査員として審査に当たった。

五十嵐 玉俊(水墨画家)/伊藤 昌(水墨画家)/大竹 卓(水墨画家)/岡原 大華(水墨画家)/川端 豊次(水墨画家)/久山 一枝(水墨画家)/小林 東雲(水墨画家)/酒井 祐二(水墨画家)/篠原 貴之(水墨画家)/新恵 美佐子(水墨画家)/千野 曜生(水墨画家)/千葉 玄象(水墨画家)/根岸 嘉一郎(水墨画家)/濱中 応彦(水墨画家)/藤崎 千雲(水墨画家)/松井 陽水(水墨画家)/丸山 東子(水墨画家)/村山 華鳳(水墨画家)/王俊 宇瀨(水墨画家)

※審査員による審査結果の最終承認等を行う当年度の「実行委員」は以下により組織した。

河野 元昭(静嘉堂文庫美術館館長)/島尾 新(学習院大学教授)/堀江 春美(公益社団法人日本南画院理事長)/品川 恵保(当法人理事長)

4. 会期、会場、参観者数等

令和5年8月10日から8月19日の会期で、国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示、公表し、開催期間中の参観者は6,205名であった。

5. 表彰式

表彰式には全国より77名の出品者が参加し、令和5年8月10日、13時30分より15時30分の時間帯でANAインターコンチネンタルホテル東京(東京都港区赤坂1-12-33)において絵画部門と合同で開催した。なお、表彰式

の参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表・販売し、当年度は223部を発行した。

(ハ) 日美展「絵画部門」

1. 展示点数等

当年度・第6回展では、審査により入選以上に該当した1,095点の作品を展覧会会場（下記4.）に展示して公開した。

| 出品の部 | | 展示作品数 |
|---------|---------------------------------|-------|
| 油絵の部 | F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号 | 332 |
| 水彩画の部 | F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号 | 363 |
| パステル画の部 | F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号 | 42 |
| 色鉛筆画の部 | F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号 | 158 |
| デッサンの部 | F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号 | 28 |
| 日本画の部 | F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号 | 53 |
| ちぎり絵の部 | F10号/F8号/大色紙 | 37 |
| 絵手紙の部 | ハガキ形式/巻き手紙形式 | 82 |
| 合 計 | | 1,095 |

2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、油絵・水彩画・パステル画・色鉛筆画・デッサン・日本画・ちぎり絵・絵手紙の各ジャンルの絵画作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が運営する展示館施設（軽井沢千住博美術館、および軽井沢ギャラリー館）の観覧者を含む不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内DMなどにより作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項（出品票付）を事前に送付した。

3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展大賞選考委員は以下の画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。

| | |
|--|----------------------|
| ※「審査員」は以下の通り、部門別に当該分野の専門画家を置き、各部別の審査に当たった。 | |
| 油絵の部 | 板倉 暁(画家)／遊馬 賢一(画家) |
| 水彩画の部 | 西丸 式人(画家)／岸本 庄八郎(画家) |
| パステル画の部 | 大枝 隆司郎(画家) |
| 色鉛筆画の部 | 大枝 隆司郎(画家)／林 佳名(画家) |
| デッサンの部 | 村松 昌三(画家) |
| 日本画の部 | 山本 真也(画家)／井坂 洋一(画家) |
| ちぎり絵の部 | 玉井 祐子(ちぎり絵作家) |
| 絵手紙の部 | 花城 祐子(絵手紙作家) |
| ※上記の審査員による各部別の審査結果に基づいて、部を横断しての上位優秀作品に授与する賞(全体賞)を選定、決定する当年度の「大賞選考委員」は、以下により組織した。 | |
| 川口 紀美雄(画家)／千足 伸行(広島県立美術館館長)／中野 嘉之(多摩美術大学名誉教授、画家)／永井 龍之介(美術鑑定士他)／品川 恵保(当法人理事長) | |

4. 会期、会場、参観者数等

令和5年8月10日から8月19日の会期で、国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示、公表し、開催期間中の参観者は7,630名であった。

5. 表彰式

表彰式には全国より270名の出品者が参加し、令和5年8月10日、13時30分より15時30分の時間帯でANAインターコンチネンタルホテル東京(東京都港区赤坂1-12-33)において水墨画部門と合同で開催した。なお、表彰式への参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表、販売し、当年度は513部を発行した。

[6] 公 1-4 : 芸術・自然科学に関する展示館施設

定款第 4 条(事業)第 1 項第(5)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき以下の通りに事業を運営した。

(イ) 軽井沢千住博美術館

1. 展示作品等

一般の観覧者のもとより、当法人の美術・芸術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生の継続的学習に資し、あるいは当法人が開催する展覧会の出品者、観覧者を含む不特定多数の者に対する美術・芸術の涵養にも資するべく、現代日本を代表する日本画家千住博の世界観・宇宙観を表現した。当年は新作「浅間山」の公開に伴い「新作・浅間山 公開～Message from the earth～」と題して開催をした。地球からのメッセージとは、浅間山を描くにあたり、千住が浅間山をデッサンしている際に、噴火口の形が「ハートの形」であることに気づき、千住は「絵を描くのには何か理由があるが、私は描かされていると感じる。浅間山が“このハートを描け”と私に訴えている。このコロナ禍や戦禍という災いが広がっている今、平和や愛を訴える絵を描くことを地球が浅間山を通じて私に求めている。」と感じたエピソードを表現した。全体としては 40 点を展示公開した。

2. 開館日数、入館者数、障害者の入館料免除対応等

当年度は、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日(令和 5 年 12 月 26 日から令和 6 年 2 月 29 日の期間は冬期休館)の期間で、開館日数は 272 日、延べ入館者数は下表の通り 46,701 名であった。なお、入館料を全額免除としている障害者および中学生以下の当年度の入館者数は、障害者が 1,423 名、中学生以下が 1,792 名となり、一定の社会貢献を果たすことができた。

| 入館者区分 | | 入館人数 |
|----------|-------|--------|
| 有料入館者 | 一般・個人 | 43,486 |
| 入館料免除対象者 | 障害者 | 1,423 |
| | 中学生以下 | 1,792 |
| 合計 | | 46,701 |

(ロ) 軽井沢ギャラリー館

当年度は、昨年度の 3 月 30 日から 4 月 24 日までを、長野県を中心とした風景を描いたペン画家・田村彰浩による「神々が宿る風景-日本の原点を訪ねて-展」、4 月 27 日から 5 月 24 日までを、「第 8 回『軽井沢追分写遊会』写真展」、5 月 27 日～6 月 26 日までを軽井沢の写真家野辺地ジョージによる

「Phoenix Rises 蘇る命」写真家野辺地ジョージ写真展、6 月 29 日～7 月 31 日を「第 2 回松平修文絵画展 祈り」、8 月 3 日から 8 月 29 日までを「河嶋淳司全版画展」、9 月 1 日から 10 月 9 日までを「天紫生-絵画展」、10 月 12 日から 11 月 6 日までを軽井沢のデジタルアート作家 CLARIS による「CLARIS WORLD 展」、11 月 9 日から 12 月 25 日までを「UWC ISAK JAPAN 作品展『Deadly Sins(大罪)』展」、本年 3 月 1 日から 3 月 25 日までを長野県上田染谷丘高等学校美術部による「ソメビ観光 2024 展」を開催した。このように、当ギャラリー館では、多角的な展示を行なうことで、軽井沢千住博美術館の観覧と合わせて美術、芸術文化等の振興に広く寄与するべく事業を実施した。

| 開催期間 | 催し内容 |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| 令和 5 年 3 月 30 日 ～ 令和 5 年 4 月 24 日 | 神々が宿る風景-日本の原点を訪ねて- |
| 令和 5 年 4 月 27 日 ～ 令和 5 年 5 月 24 日 | 第 8 回『軽井沢追分写遊会』写真展 |
| 令和 5 年 5 月 27 日 ～ 令和 5 年 6 月 26 日 | 「Phoenix Rises 蘇る命」写真家野辺地ジョージ写真展 |
| 令和 5 年 6 月 29 日 ～ 令和 5 年 7 月 31 日 | 第 2 回松平修文絵画展 祈り |

| | |
|--------------------------|--------------------------------------|
| 令和5年8月3日～ 令和5年8月29日 | 河嶋淳司全版画展 |
| 令和5年9月1日～ 令和5年10月9日 | 天紫生-絵画展 |
| 令和5年10月12日～ 令和5年11月6日 | CLARIS WORLD 展 |
| 令和5年11月9日～ 令和5年12月25日 | UWC ISAK JAPAN 作品展『Deadly Sins(大罪)』展 |
| 令和6年3月1日～ 令和6年3月25日 | ソメビ観光2024展 |

(ハ) 軽井沢カラーリーフガーデン

1. カラーリーフガーデンの活用

Acer platanoides 'Crimson king' (ノルウェーカエデ 'クリムソン・キング' /カエデ科)や *Betula pendula* 'Golden Cloud' (ヨーロッパシラカバ 'ゴールドデン・クラウド' /カバノキ科)などの木本、*Lysimachia ciliata* 'Fire Cracker' (リシマキア・キリアタ 'ファイヤー・クラッカー' /サクラソウ科)や *Tradescantia × andersoniana* 'Sweet Kate' (トラデスカンティア・アンダーソニアナ 'スイート・ケイト' /ツユクサ科)などの草本等々、他の植物園等では見聞し難いカラーリーフプランツを約150種類以上、総数約6万株植栽している本ガーデンについては、植栽している主な種類の名前を科名・学名付で表記し、その写真も掲載した銘板を作成してガーデン内の主な繁茂地に設置し観覧者の啓発、教化に努めている。定期的なメンテナンスを実施し、散策路の安全保持と景観維持に努めた。

(ニ) 令和5年度の美術品購入について

美術品購入は、「美術品購入積立資金」計画に基づいて行われている。令和5年度は、令和4年に千住が日本芸術院会員に任命されたことなどから多忙を極めた影響などがあり、作品の購入はできなかった。

II 収1：出版、物品販売、展覧会に関わる表装代行・親睦パーティー、貸室および業務受託の事業計画

[1]収1-1：出版

定款第4条(事業)第1項第(3)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する各種出版物の刊行」に基づき、当法人が運営する通信教育講座の学習内容等に関連する以下の検定試験の受験対策用教本等を、受験希望者にカタログで案内するなどして販売した。当事業の計画では、フォトマスター検定関係：1,510冊、デジタル技術検定関係が710冊、レタリング技能検定関係で3,600冊であった。実販売数は、フォトマスター検定関係は1,481冊、デジタル技術検定関係は541冊、レタリング技能検定関係は3,538部、ラジオ・音響技能検定関係は1冊となった。

| 関連する当法人の通信教育講座等 | 出版物の内容・種類と販売部数 |
|---|---|
| 文部科学省認定「写真作品創作塾」(公1-1) 文部科学省認定「ハイキングとカメラ技法講座」(公1-1) フォトマスター検定(公1-2) | 写真・カメラの全般的な知識、技法に関わるフォトマスター検定について、その過去問題の解答・解説を行う受験対策用教本。写真・カメラの全般的な基礎知識、基本技法について学ぶ教本 <出版物の種類> ①フォト検 過去問題の解答と解説1～8 / ②フォトマスター検定公式テキスト ----- <販売部数> 当年度の販売部数は、合計：1,481部 ①フォト検 過去問題の解答と解説1～8：791部 フォトマスター検定公式テキスト：690部 |

| | |
|--|---|
| <p>文部科学省認定 「自動車講座」 (公 1-1) 文部科学省認定 「オートバイ講座」 (公 1-1) 文部科学省認定 「写真作品創作塾」 (公 1-1) 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 (公 1-1) フォトマスター検定 (公 1-2)</p> | <p>自動車・オートバイ、あるいはデジタルカメラのデジタルシステムや音響に関する、デジタル技術検定、またはラジオ・音響技能検定の過去問題の解答・解説等の受験対策用教本。 <出版物の種類：デジタル技術検定関係> 4 級試験問題集／3 級試験問題集／2 級制御部門試験問題集／2 級情報部門試験問題集 <出版物の種類：ラジオ音響技能検定関係> 4 級最新既出問題集／4 級受験読本／3 級最新既出問題集／3 級受験読本／2 級最新既出問題集／2 級技術教本</p> <hr/> <p><販売部数> 当年度の販売部数はデジタル技術検定関係で計 541 部、ラジオ音響技能検定関係で計 1 部、合計 542 部であった。</p> |
| <p>レタリング講座 (公 1-1) レタリング技能検定 (収 1-5)</p> | <p>レタリングに関する用語解説、常用漢字の文字見本帳の役割をはたすもの。下書きから墨入れまで手順を追って、レタリングの技法を詳細に解説したもの。検定試験の各級の範囲や選定基準が網羅されており、レタリング技能検定のすべてが分かる参考書。 <出版物の種類> 書体サンプル集／文字骨格練習帳</p> <hr/> <p><販売部数> 書体サンプル集：3,043 部。文字骨格練習帳：495 部</p> |

[2]収1-2：物品販売

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、以下の通りに当法人主催の展覧会に関わる出品作品の制作等に必要な用具用材類販売、出品者自身の展示作品を印刷するなどした記念品類の販売、および展覧会会場に設置した売店での用具用材類の販売、ならびに当法人の展示館施設(ミュージアムショップ)における観覧者への関連商品等の販売を行った。なお、日美展に関わる出品希望者または出品者に対する関連商品の販売は、出品希望者に配布する出品資料へのカタログを同封するなどして購入者を募った。

| | 販売品目と販売点数等 |
|-----------------------|---|
| 日美展「絵画部門」関連商品類(公1-3) | <p><カタログでの販売品目> 油絵用筆類/油絵具類/キャンバス類/画用液/ちぎり絵台紙/和紙セット/水彩画筆/水彩絵具/水彩用紙/色鉛筆/スケッチブック/日本画筆/麻紙ボード/絵手紙セット/顔彩/印/パステル/絵手紙用筆/絵手紙箋/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約92品目</p> <p><同販売点数等> 当年度は、購入者が646人、販売商品の延べ販売数が905点であった。</p> |
| 日美展「水墨画部門」関連商品類(公1-3) | <p><カタログでの販売品目> 毛筆類/墨/練り墨/顔彩/用紙類/印泥/印矩/下敷/紙断包丁/ドーサ塗り用刷毛/ドーサ液/わんぱう/膠液/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約155品目</p> <p><同販売点数等> 当年度は、購入者が304人、販売商品の延べ販売数が538点であった。</p> |
| 展示館施設関連商品類(公1-4) | <p><販売品目> ポストカード/オリジナル商品(トートバック/Tシャツ/クリアファイル/チケットホルダー/ポチ袋/マグネット/御朱印帳/手拭い/葉/カレンダー/一筆箋/キーホルダー/ピンバッチ/ミラー/エコペン/レターセット/名刺入れ)/小型複製画/美術館カタログ/美術館DVD/千住博の各種著作物/カラーリーフガイドブック/美術・建設書籍/セレクト雑貨等、約500品目</p> <p><販売点数等> 当年度は、販売商品の延べ販売点数は40,826点であった。</p> |

[3]収 1-3：展覧会に関する表装代行・親睦パーティー

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づいて開催した各展覧会に関わる展示作品(入選以上該当作品)の表装代行、および出品者が希望により参加する親睦パーティーの開催に関わる事業を計画したが、日美展は新型コロナウイルス感染症の5類解除後ではあったが、8月の状況を予見できず、親睦パーティーは計画しなかった。なお、展覧会における表装は、材質・形状・色柄等の違いなど本来の作品性とは異なる二次的要素によって作品の本質的な鑑賞が妨げられることを防ぐためにその規格と品質、仕様の統一を図る目的で、あるいは出品者が全国各地にわたり在住地域によっては適確な表装手配に困難を来す場合もあること、あるいは不良梱包などにより表装が発送途上で破損する危険を回避し、表装済作品の嚴重梱包・送付に要する出品者負担を軽減するなど、出品者の利便性確保の目的で、事前に表装代行に関わる料金等を出品要項に記載してこれを出品希望者全員に知らしめた上で当法人が信頼できる専門業者を選定して代行依頼した。また、出品者に対しては、展覧会終了後に、リースの場合は作品のみを、買取の場合は表装した状態のまままで返送した。

(イ) 総合写真展(公1-3)に関わる表装代行、親睦パーティー

| 表装区分 | | 表装代行した作品点数 |
|---|-----|------------|
| 半切 | 買取 | 410 |
| | リース | 351 |
| 全紙 | 買取 | 319 |
| | リース | 129 |
| 合計 | | 1,209 |
| 総合写真展の親睦パーティーは会費制により以下の通り実施した | | |
| 開催日時：令和5年12月13日12時～14時 | | |
| 場 所：浅草ビューホテル（東京都台東区西浅草3-17-1） | | |
| 参加人数：79人 | | |
| その他事項：上位作品をスライド映写して会場で公表すると同時に審査員による当該作品の講評と解説を行った。 | | |

(ロ) 日美展「水墨画部門」(公1-3)に関わる表装代行、親睦パーティー

| 表装区分 | | 表装代行した作品点数 |
|-----------------|-----|------------|
| F30号 | 買取 | 67 |
| | リース | 52 |
| F20号 | 買取 | 52 |
| | リース | 39 |
| F15号 | 買取 | 17 |
| | リース | 5 |
| F10号 | 買取 | 41 |
| | リース | 19 |
| F8号 | 買取 | 37 |
| F6号 | 買取 | 14 |
| 半切1/2 | 買取 | 34 |
| 色紙 | 買取 | 7 |
| 合計 | | 384 |
| 親睦パーティーは計画しなかった | | |

(ハ) 日美展「日美絵画展」(公1-3)に関わる表装代行、親睦パーティー

| 表装区分 | | 表装代行した作品点数 |
|-----------------|-----|------------|
| F30号 | 買取 | 92 |
| | リース | 41 |
| F20号 | 買取 | 83 |
| | リース | 39 |
| F15号 | 買取 | 64 |
| | リース | 22 |
| F10号 | 買取 | 157 |
| | リース | 65 |
| F8号 | 買取 | 124 |
| F6号 | 買取 | 171 |
| F4号 | 買取 | 142 |
| 大色紙 | 買取 | 13 |
| ハガキ形式 | 買取 | 61 |
| 巻き手紙 | 買取 | 21 |
| 合計 | | 1,095 |
| 親睦パーティーは計画しなかった | | |

[4]収1-4:貸室

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」および同第(6)号「その他この法人の目的達成に必要な事業」に基づき、貸室料を前払いで月額200,000円(税別)、水道光熱費を実費払いとして当法人の展示館施設(公1-4)の建物の一部(床面積162.13㎡)をカフェ用に貸室する事業を運営した。

[5]収1-5:業務受託等

定款第4条(事業)第1項第(2)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、関連通信教育講座の開発や学習指導等に寄与、反映させるべく、「デジタル技術検定」、「レタリング技能検定」の試験業務を主催事業として実施した。

(イ) デジタル技術検定

1. 試験実施日

令和5年6月25日・日曜日

2. 試験会場

各都道府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

(本会場9、準会場32、計41会場)

3. 受験者数、合格者数等

本検定は、情報処理・制御に関する技術をデジタル技術という観点からまとめて評価するもので、当年度は下表の通りであった。受験料の割引については本会場実施団体および一般会場で受験する団体受験の場合は延べ15名以上受験で10%を割引いて実施した。また、準会場については、新型コロナウイルス感染症対策として、団体には自校・自社会場(準会場)の設置を勧め、かつ促進の観点から、受験料の10%割引きについては割引対象の規定を延べ30人から15人へ引き下げ、設置についても人数制限を撤廃し、最少人数でも本会場に赴くことなく実施できるよう配慮した。また、不特定多数が集う本会場については、感染対策グッズを準備するなど感染症対策を実施した。なお、本検定はラジオ音響技能検定の流れを汲み、デジタル技術という名称ながら、アナログを含む知識も多く問われている。現在ではデジタル技術の深化とともに包括

的な知識を学ぶよりも専門性のある学習が主流となり、本検定と教育機関の方向性の不一致が著しくなったことにより、受験者の減少に歯止めがかからないことから、現時点では社会的要請に一旦の区切りがついたものと判断し、6月をもって休止とした。ただし、検定という公共性のある事業であることから、休止後も合格証明などの事後対応を継続していく。

| 受験級 | 応募者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|------|-------|-------|------|
| 2級情報 | 322 | 301 | 205 |
| 2級制御 | 401 | 363 | 214 |
| 3級 | 413 | 398 | 342 |
| 4級 | 104 | 97 | 67 |
| 合計 | 1,240 | 1,159 | 828 |

4. 普及活動

工業高校・高等専門学校などの関連する教育機関や企業に受験案内書を送付する他、ポスター掲示、インターネット広告等により、受験者を募集した。

5. 検定委員等

検定委員は下記学識経験者により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や可否判定等を行った。

東京工業高等専門学校名誉教授：1名／

東京工科大学教授：1名／日本大学教授：1名

6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

| | 団体受験に対して | 個人受験に対して |
|----------|----------|-------------|
| 文部科学大臣賞 | 2団体 | 2名(2級以上各1名) |
| 当法人による表彰 | 2団体 | 70名(各級合計) |

(ロ) ラジオ・音響技能検定

本検定は受験者減少のため、平成28年度から休止している。

(ハ) レタリング技能検定

1. 試験実施日

A日程：令和5年6月4日(日) B日程：令和5年6月10日(土)

2. 試験会場

各都道府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。
(本会場10、準会場129、計139会場)

3. 受検者数、合格者数等

本検定は、美しく表情豊かな文字をデザインする知識と技能を評価するもので、当年度の結果は下表の通りであった。新型コロナウイルス感染症対策として、団体には自校会場(準会場)の設置を促した。また、準会場の試験監督料の支払いについては、三密防止で教室を複数使用する団体には、1教室当りの受検者数に限らず必要人数分の試験監督料を支払うなど、受検団体のコロナ対策にも配慮した。なお、受検料は、自主会場の団体受検の場合は10%を、一般会場で受検する団体の場合は、5%を割り引いて実施した。

| 受 検 級 | 志願者数 | 受検者数 | 合格者数 |
|-------|-------|-------|-------|
| 1 級 | 44 | 44 | 4 |
| 2 級 | 434 | 415 | 141 |
| 3 級 | 2,815 | 2,707 | 1,860 |
| 4 級 | 844 | 813 | 659 |
| 合計 | 4,137 | 3,979 | 2,664 |

4. 普及活動

工業高校・専修学校・専門学校などの関連する教育機関や団体に受検案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、情報誌等への情報提供等により受検者を募った。

5. 検定委員等

検定委員は下記の専門家により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や合否判定等を行った。

デザインオフィス主宰・グラフィックデザイナー：2名／
 デザインオフィス主宰・文字・書体デザイナー：2名／
 会社員・文字・書体デザイナー：1名／
 多摩美術大学造形表現学部デザイン学科講師・
 文字・書体デザイナー：1名／
 文筆業：1名

6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受検または個人受検については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

| | 団体受検に対して | 個人受検に対して |
|----------|----------|------------|
| 文部科学大臣賞 | 2 団体 | 1 名 |
| 当法人による表彰 | 31 団体 | 76 名(各級合計) |

[6]収 1-6：イベント事業

定款第4条(事業)第1項第(2)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する研究」(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」および(6)「その他この法人の目的達成に必要な事業」に基づくイベント事業については、本年は計画をしなかった。